

黒潮町スポーツ合宿

町では、1月中旬から3月中旬にかけて、スポーツ合宿が行われています。それぞれのチームの選手や監督からコメントをいただきました。

◆ラインメール青森FC 2月1日(日)～3月8日(日)

原崎政人監督「今年は結果を出せるように、今回の合宿は準備期間としたい。シーズン終了から期間が経ったため、まずはしっかり意識合わせをしていく」
遠藤元一選手「青森では雪の影響で外での練習ができず、体育館での練習が中心だったため、外で練習ができるのはありがたい。新チームになったばかりなので、団結力を強めるとともに、勝負強さを鍛えていきたい」



◆高知ファイティングドッグス 2月2日(月)～2月5日(木)

佐々木斗夢監督兼選手「期間中は生活面のサポートがあるため、トレーニングに集中できる。全体で集まったのは久しぶりなため、組織としてどう動くのかミーティングを重ね、方針をあわせていく。トップリーグへの選手輩出と優勝は目標としてあたりまえ。一人ひとりが負けず嫌いな集団を作っていく」



Topic 2月5日(木)に同チームの選手1名、関係者1名が町内の4つの保育所を訪問し、佐賀保育所では、スタッフの岡本啓さんと平林大吉選手が園児らと交流を行いました。園児らは「打つのも投げるのも楽しかった」、「おばあちゃんの家で練習してきた」、「野球選手になりたい」などと話し、岡本さんは、「子どもたちは素直なので、純粋に野球を楽しんでくれたので、やりがいがある。カテゴリーが上がるほど、苦しいこともできてくる。今は初心の気持ちで、純粋に楽しんでほしい」と話しました。



町出身選手が「全国都道府県対抗駅伝」へ出場

1月11日(日)に京都府で開催された「皇后盃第44回全国都道府県対抗女子駅伝」に1名、また、1月18日(日)に広島県で開催された「天皇盃第31回全国都道府県対抗男子駅伝」に2名、町出身の選手が出場しました。

女子駅伝に参加した横井花音さんは、「中学最後に夢の舞台で走ることができてとても嬉しかった。次は全国で通用する走りができるよう、高校でも陸上を頑張る」と意気込みを語りました。

皇后盃第44回全国都道府県対抗女子駅伝

横井花音さん(中学)

天皇盃第31回全国都道府県対抗男子駅伝

田辺真咲さん(大学)、濱口碧月さん(高校)



有料広告

団体活動のための 小さな掛金 大きな補償

スポーツ安全保険

スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動、レクリエーション活動などを行う4名以上のアマチュアのクラブ・サークル・グループが加入できます。



保険の詳細内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

インターネットでかんたん加入
<https://www.sportsanzen.org>

公益財団法人スポーツ安全協会